

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金事業実施状況及び効果検証



No.	2	事業名	非接触型体温検知システム 導入事業
-----	---	-----	----------------------

事業所管課	総務課
事業実施期間	令和2年10月20日～令和2年11月24日
総事業費（内、交付金充当額）	9,570,000円（7,656,000円）
事業費の繰越	有 ・ 無

事業概要	事業目的	役場庁舎等公共施設の出入口に非接触型体温検知システムを設置することで、利用者及び職員の感染防止対策を講じる。
	事業内容	<p>1. AI顔認識システムカメラ設置 計10箇所 （役場本庁舎玄関、文化交流プラザ（裏口）、保健相談センター（検診等）、中央公民館、大石総合体育館、図書館、郷土館、泊ふれあいセンター（2ヶ所）、千歳平地区公民館）</p> <p>2. AI顔認識システムタブレット設置 計18箇所 （役場分庁舎入口、文化交流プラザ（正面）、尾駈コミュニティセンター、保健相談センター、各小・中学校（7箇所）、地域交流ホーム、老人福祉センター、高齢者生活福祉センター、地域家庭医療センター、老健ニッコウキスゲ、千歳平診療所、社会教育課）</p>

事業実施状況	評価指標	施設への設置数
	目標値	カメラ10台 タブレット18台
	実績値	カメラ10台 タブレット18台
	事業実績	<p>AI顔認識システムカメラ 1台 525,360円（税込）×10台=5,253,600円</p> <p>AI顔認識システムタブレット 1台 239,800円（税込）×18台=4,316,400円</p> <p>5,253,600円+4,316,400円=9,570,000円</p>
	評価・効果検証	発熱者が施設に入ることを未然に防ぐことができ、利用者が安心して施設を利用することに繋がっている。
	事業効果	新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった。
今後の取組	AI顔認識システムカメラ及びタブレットを継続して設置し、施設の利用者及び職員の感染防止対策を引き続き行う。	

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時 交付金事業実施状況及び効果検証



No.	3	事業名	GIGAスクール構想 整備事業
-----	---	-----	--------------------

事業所管課	学務課
事業実施期間	令和2年10月20日～令和3年3月24日
総事業費（内、交付金充当額）	19,408,000円（13,110,000円）
事業費の繰越	有 ・ 無

事業概要	事業目的	国が進めるGIGAスクール構想に係る一人1台PC端末の実現を目指す。また、災害や感染症発生等の緊急時においても継続的な学びを実現できる環境を整備する。
	事業内容	村内全小学校のオンライン学習環境を整備するため、タブレット端末購入及び校内通信ネットワーク環境整備を実施する。
事業実施状況	評価指標	オンライン学習環境を整備した村内小学校数
	目標値	4校
	実績値	4校
	事業実績	<p>1. タブレット端末購入費 購入台数 全体380台 全体事業費 22,290,400円（児童分312台+教員分50台+予備機18台） 文部科学省補助対象分 312台 国からの定額補助 = 13,824,000円 <国からの定額補助内訳> ・ 補助単価45,000円×112台 = 5,040,000円 43,382円×157台 = 6,810,974円 ・ 特別加算単価（泊小学校分）45,900円×43台 = 1,973,700円 5,040,000円+6,810,974円+1,973,700円 = 13,824,674円 ≒ 13,824,000円 全体事業費 22,290,400円-国からの定額補助 13,824,000円 = 一般財源 8,466,400円</p> <p>2. 校内通信ネットワーク環境整備費 泊小学校12,329,876円+尾駁小学校12,717,341円+南小学校10,270,474円+千歳平小学校212,309円 = 全体事業費35,530,000円 文部科学省補助金対象経費21,892,353円-文部科学省補助金額10,951,000円 = 一般財源 10,941,353円 一般財源合計 8,466,400円 + 10,941,353円 = 19,407,753円</p>
	評価・効果検証	学校施設におけるICT環境を整備することにより、児童一人ひとりに個別最適な学びを提供し、災害や感染症発生等の緊急時においても継続的な学びを実現できる環境が整備できた。
	事業効果	新型コロナウイルス対策として非常に効果的であった。
	今後の取組	整備された環境を活かし、児童の継続的な学びを確保していく。